

Subject: 【情シス必見】無線アクセスポイントはここまで進化しています！

From: コムリンクス インサイドセールスG <inside@comlinks.co.jp>

Date: 2025/11/04 11:57

To: <everyone@comlinks.co.jp>



Future is Secure
COMLINKS
— 未来は安心だ —

★Wi-Fi 6 から7へ★

無線技術の急速な進化により**高速で安定した**インターネット接続が可能に！
6GHz帯の開放により**干渉が少なくなる構成も可能**になります。
無線アクセスポイントを見直し、貴社のWeb会議をより快適に行いませんか？

↙ 1分で入力完了！／

無料相談はこちら

☆Wi-Fi7の魅力☆

広い帯域幅が利用可能で**6GHz帯を利用**することができます！
これによりデータ転送量が増え、オンライン会議などスムーズに行うことが
可能です。

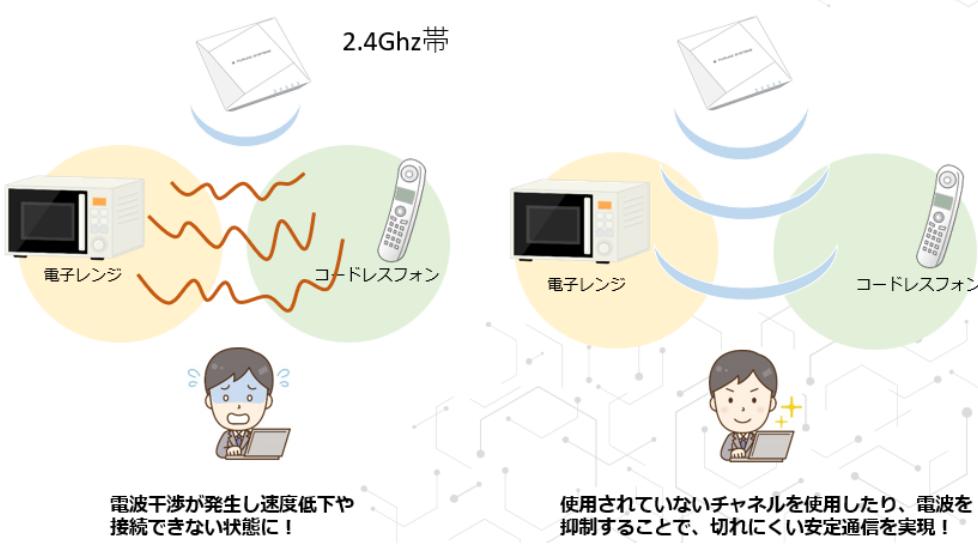
6GHz帯を利用することで、衛星との干渉も気にすることなく無線を利用することが
出来ます。



電波干渉発生



電波干渉なし！



弊社のCCB（コムリンクス東京オフィス）では
最新のWi-Fi7を展示しております。

＼実際に見て、触って体験していただくことが可能です！／

CCBについて

【Wi-Fi6とWi-Fi7の違い】

Wi-Fi6 (802.11ax)

現在主流となっているWi-Fi6と呼ばれる規格で、その規格に対応した無線アクセスポイントが多く導入されています。

【主な技術】

OFDMA

複数のデバイスが同時に異なる帯域幅を使用できる技術で、ネットワークの効率を向上させます。

MU-MIMOの拡張

最大8台のデバイスが同時に通信可能で、Wi-Fi 6は特に多くのデバイスが接続される環境での効率性を重視しており、速度だけでなく接続の安定性やセキュリティも向上しています。

Wi-Fi7 (802.11be)

より高速で、複数の周波数帯を同時に利用できるため、将来的なネットワークの主流になると期待されています。

【主な技術】

MLO (Multi-Link Operation)

複数の周波数帯を同時に使用することで通信速度と安定性を向上させます。

4096-QAM

より高いデータ転送効率を実現する変調方式で、Wi-Fi 7は速度・効率・接続可能なデバイス数の面で大幅な進化を遂げており、特に高帯域幅を必要とするアプリケーションやIoTデバイスの増加に対応するために設計されています。

【Wi-Fi規格の歴史】

規格	呼称名	周波数帯	最大速度	特徴
802.11b		2.4GHz	11Mbps	家庭やオフィスでの利用が広まった。
802.11a		5GHz	54Mbps	障害物に弱いがより高速な通信が可能。主にビジネス用途で使用
802.11g		2.4GHz	54Mbps	速度の向上があったが、2.4GHz帯の混雑により官署の問題が発生。
802.11n	Wi-Fi4	2.4GHz/5GHz	600Mpdps	デュアルバンド（2.4GHz/5GHz）対応
802.11ac	Wi-Fi5	5GHz	6.9Gbps	MU-MIMO：複数デバイスが同時に通信できる技術
802.11ax	Wi-Fi6	2.4GHz	9.6Gbps	MU-MIMOの拡張より多くのデバイスが同時に通信可能
802.11be	Wi-Fi7	2.4GHz/5GHz 6GHz	46Gbps	MLO（Multi-LinkOperation）：複数の周波数帯を同時に使用可能

他にもオフィスの無線化、今後のリプレイス等お考えでしたら無料でネットワーク構築のためのヒアリングも可能です。

＼お気軽にご相談ください！／

お問い合わせはこちら

□■□――お電話・メールでのお問い合わせもお待ちしております――□■□
(TEL) 06-6308-8430
(Mail) information@comlinks.co.jp
(担当者) 株式会社コムリンクス インサイドセールスグループ 三木



配信解除はこちら